



あんしん道あいち 第11号

(社)全国道路標識・標示業協会 愛知県協会

<http://www.ansinmichiaichi.jp>

TEL (052) 241-4515/FAX (052) 252-8156/E-mail [zen-ai@syd.odn.ne.jp]

目次

☑ 「ボランティア継続13年」	(1)
☑ 保安機材供出ネットワーク	(2)
☑ 地区別防災訓練	(4)
☑ 防護柵・フェンス部会技術情報	(6)
☑ 道路標識設置管理士研修レポート	(8)
☑ 平成20年8月 標識令の改正について	(10)
☑ 平成20年度路面標示技能士検定実施報告	(12)
☑ 標示部会技術情報	(13)
☑ 平成20年度通常総会開催	(14)
☑ 安全大会事業報告	(15)
☑ 会員名簿	(16)



非常災害時保安機材供出訓練の様子

ボランティア継続13年

社団法人 全国道路標識・標示業協会 愛知県協会会長 前山 達彦

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

愛知県道路安全施設協会より継続して実施してまいりましたボランティア活動は、平成8年より本年度で13年目となりました。これも地域社会、官庁の皆様のご支援や温かいご声援の賜物と心より感謝申し上げます。公共事業に携わる専門事業者団体として、社会への恩返しとして始められました各々のボランティアは、いまでは各地域の方々との共同作業としてすっかり定着してまいりました。当協会の会員も地域の方々特にお年寄りや子どもたちと共に汗を流すことで、ボランティアに参加する喜びや大きな学びを得てきたことと思います。現在実施しています主な公益活動をご紹介します。

「非常災害時保安機材供給ネットワーク」による災害ボランティア

予想される東海大地震など大規模災害時には、二次災害を防止したり緊急輸送道路を確保するための保安機材が必要となります。愛知県協会では県下10箇所の会員会社に防災倉庫を設置し保安機材を備蓄しています。災害時には登録された隊員がこの保安機材を被災地まで運搬し設置する災害ボランティアです。

いざというときに備え、本号の記事にありますように愛知県総合防災訓練に参加するとともに、県下6地域に別れ地域別訓練を実施、各建設事務所の防災主幹様に巡回いただいています。訓練を重ねるごとに出勤隊員の志気も高まってきているようです。

子どもを守ろうプロジェクト

幼い子どもが凶悪犯罪や交通事故により尊い命を奪われる事件が全国で多発しています。当協会は学校周りや通学路の安全対策を〈犯罪・交通事故・災害から子どもを守ろうプロジェクト〉として提案してまいりました。一昨年には愛知県長久手町立北小学校においてフェンスの取替などのモデル施工と寄付を行ないました。また昨年は県下44小学校の防犯少年団「KONOHAKISS」と共に「しらない人にはついていけない」シートを校門に貼り付けるボランティアを実施いたしました。本年も継続して実施いたします。

交通安全県民運動への参加

愛知県においては残念ながら交通事故死者数が3年連続全国ワースト1位という不名誉な状況が続いています。本年は何としてもこれを返上しなくてはなりません。当協会は愛知県交通安全推進協議会の主催する春、夏、秋、歳末の交通安全県民運動に積極的に参加しています。とくに秋には名古屋地区、尾張地区、三河地区の3地区において交通安全街頭キャンペーンに参加し、また老人会や幼稚園を訪問し交通安全を呼びかける活動を毎年実施しています。また愛知県高速安全協議会の主催するパーキングエリアでのキャンペーンへの参加、さらには(財)愛知県交通安全協会がオアシス21で開催する「おもしろ交通博」にも参加、広場に集まった子どもたちと一緒に交通安全を呼びかけています。

ガードレール支柱反射材貼付け、カーブミラー・標識清掃ボランティア

夜間、車を走行しているとカーブ地点に赤い反射シートが貼り付けているのを多く見かけるようになりました。これは当協会が各建設事務所と打ち合わせの上、交通事故危険箇所の防護柵支柱下に高輝度反射テープの貼付けボランティアを実施してきたものです。年間110枚、昨年まで12年間で約1300枚のシートの貼付けを行い、現在では愛知県下の概ね主なカーブ地点全てにおいて設置されました。危険箇所をより早く確認できると好評を頂いております。

またカーブミラーや道路標識の清掃も併せて県内9建設事務所管内で12年に亘り実施してまいりました。年に1度のリフレッシュでよりきれいに見やすくなり、地域住民の方々にも喜ばれるようになってまいりました。

交通遺児基金への寄付活動

当県協会は交通事故により父母を失った子どもたちに少しでも励みになればとの思いから、「財団法人 東海交通遺児を励ます会」に毎年寄付活動を行なっています。「励ます会」は交通遺児への無返済の奨学金やサマーキャンプなど物心両面で交通遺児を支えてきました。「交通事故をなくしてほしい」という子どもたちの声に真摯にこたえるため、さらに交通事故抑止を目指し活動してまいりたいと存じます。

以上の各ボランティア活動を今後も会員が一体となり実施してまいりたいと思いますので、当協会への一層のご指導ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

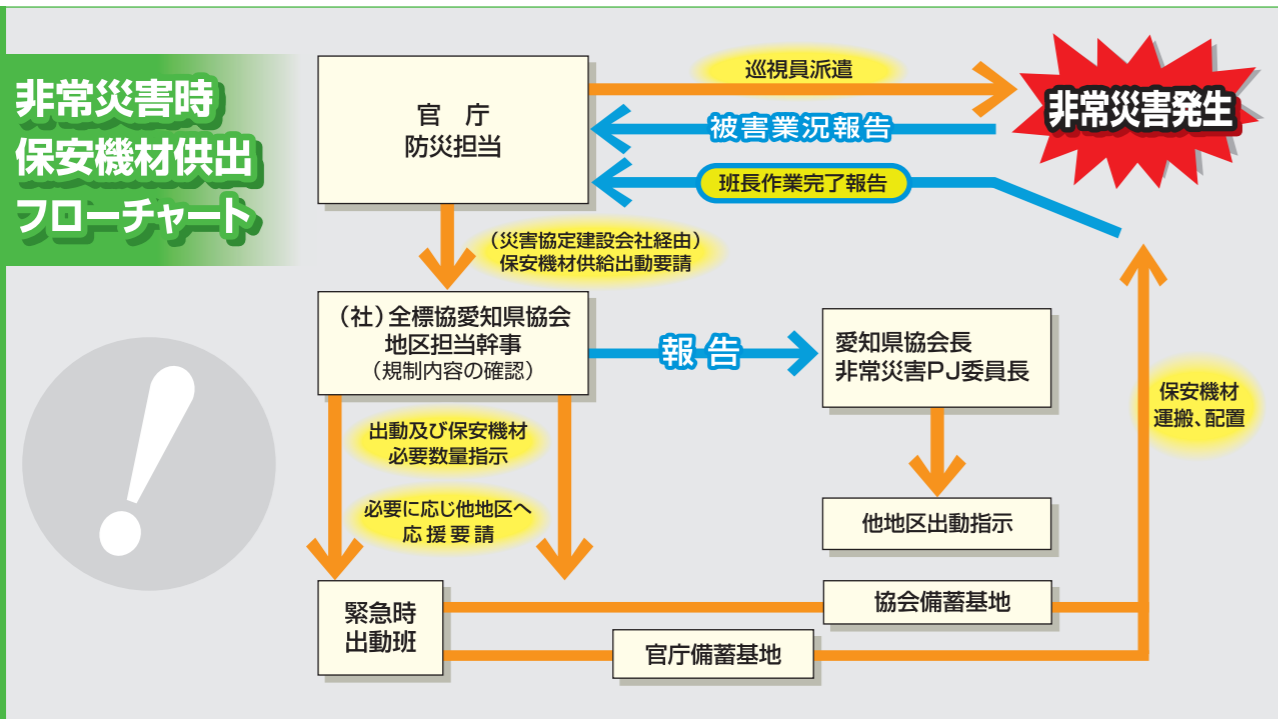
非常災害時 保安機材供出ネットワーク

非常災害対策PJ委員会 成田 聡

非常災害時保安機材供出ネットワークの体制を更に強化いたしました

東海・東南海地震など今後予想される様々な非常災害に対し、少しでも二次災害を防止できるようセーフティーコーン・コーンバー・トラロープ等を備蓄してまいりました保安機材供出ネットワークも今年で6年目を迎えました。毎年少しずつではありますが、備蓄品目を増やし、数量を充実させ、災害に備えてまいりました。本年の当協会の新たな取り組みといたしましては保安機材を備蓄しております県下9ヶ所の各基地それぞれで出動隊員を募り、地区別にて緊急時出動班を配置いたしました。この地区別緊急時出動班は非常災害時における土砂崩壊現場や道路の亀裂・陥没等の危険個所への一般住民の立ち入りを防ぎ、二次災害の発生を防止することを目的として、結成いたしました。その任務といたしましては道路管理者や災害協定建設会社からの出動要請に対しまして当協会備蓄基地もしくは官庁備蓄基地にて保安機材を積み込み、運搬し、災害発生現場に設置することです。いつ発生するか分からない非常災害に対し、迅速かつ確かな行動が取れるよう地区別での出動訓練を行なうとともに、各協会員それぞれの防災意識を高め、地域社会に貢献出来るよう努めてまいりたいと思っております。県下9ブロック(10基地)の備蓄品目・備蓄数量は以下のとおりです。

非常災害時 保安機材供出 フローチャート



緊急時連絡先

- ① 一宮建設事務所管内
中日保安設備株式会社 舟橋 浩司
電話 (0587)95-1284 / 携帯 (090)3254-8947
- ② 海部建設事務所管内
藤安全施設株式会社 加藤 淳一
電話 (0567)95-8038 / 携帯 (090)1413-4773
- ③ 尾張建設事務所管内・名古屋市内
小田鉄網株式会社 成田 聡
電話 (052)351-5181 / 携帯 (090)8322-8828
- ④ 知多建設事務所管内
美松工業株式会社 甲村 一夫
電話 (0569)29-2751 / 携帯 (090)1822-6673
- ⑤ 知立建設事務所管内
信号器材株式会社 本多 徹
電話 (052)832-2571 / 携帯 (090)3258-9819
- ⑥ 豊田加茂建設事務所管内
株式会社東亜製作所 野村 義彦
電話 (0565)27-7510 / 携帯 (090)9938-5640
- ⑦ 西三河建設事務所管内
西尾ライン株式会社 長坂 武久
電話 (0563)54-3481 / 携帯 (090)5035-1078
- ⑧ 東三河建設事務所管内
株式会社前山 前山 達彦
電話 (0532)52-3077 / 携帯 (090)8189-7726
- ⑨ 新城設楽建設事務所管内
東京戸張株式会社 小林 龍雄
電話 (0533)68-7151 / 携帯 (090)7601-5524

非常災害時は…「保安機材供出ネットワーク」を御利用下さい

各ブロック基地の所在地

① 一宮建設事務所管内
●中日保安設備株式会社
丹羽郡大口町外坪1-43-1
TEL (0587) 95-1284
FAX (0587) 95-3964
担当舟橋 浩司 / 携帯 (090) 3254-8947

② 海部建設事務所管内
●(株)大恵
弥富市又八2-131-1
TEL (0567) 65-3555
FAX (0567) 65-3207
担当荒木 利広 / 携帯 (090) 8865-1065

③ 尾張建設事務所管内・名古屋市内
●株式会社 前山
名古屋市瑞穂区中山町3-6
TEL (052) 841-9250
FAX (052) 852-0300
担当長田 充雄 / 携帯 (090) 9266-8083

④ 知多建設事務所管内
●日道工業(株)
知多郡阿久比町大字矢高字五反田16-1
TEL (0569) 48-1456
FAX (0569) 48-7249
担当立岩 良之 / 携帯 (090) 1825-5622

●美松工業(株)
半田市州の崎町2-111
TEL (0569) 29-2751
FAX (0569) 29-2742
担当甲村 一夫 / 携帯 (090) 1822-6673

⑤ 知立建設事務所管内
●名阪興業(株)
知立市牛田町前田5-1
TEL (0566) 82-8818
FAX (0566) 81-1258
担当大里 健二 / 携帯 (090) 3936-4630

⑥ 豊田加茂建設事務所管内
●順天工業(株)
豊田市八草町一ノ坪9-1
TEL (0565) 48-4851
FAX (0565) 48-4852
担当森 繁 / 携帯 (090) 7309-9044

⑦ 西三河建設事務所管内
●西尾ライン(株)
西尾市今川町岩根21-1
TEL (0563) 54-3481
FAX (0563) 57-1107
担当長坂 武久 / 携帯 (090) 5035-1078

⑧ 東三河建設事務所管内
●(株)メタルテクノ神戸
豊橋市問屋町23
TEL (0532) 31-6700
FAX (0532) 31-6603
担当横田 佳史 / 携帯 (090) 5616-8080

⑨ 新城設楽建設事務所管内
●(株)日本道路システム
新城市豊島宇籠谷9-6
TEL (0536) 23-6120
FAX (0536) 23-6122
担当村上 慶 / 携帯 (090) 8670-2022

▲トラロープ ▲セフティコーン ▲土のう袋 ▲ブルーシート

立て看板 (通行止め立入禁止)

通行止め 立入禁止

備蓄状況 →

非常災害時保安機材 備蓄品目(県下)

	品名・仕様			備蓄数量	単位
● 土のう袋	480×620	白PE	9×9	9,000	袋
● コンテナバッグ	丸型	ノーマル		180	袋
● トラロープ	φ9			4,500	m
● トラロープ	φ12			4,500	m
● ブルーシート	#2000	5.4m×7.2m		180	枚
● ブルーシート	#2000	7.2m×7.2m		108	枚
● ブルーシート	#2000	10m×10m		72	枚
● セフティコーン	H700	重さ3.8kg	反射式	513	本
● コーンバー	2m			513	本
● 立て看板	1400×550	反射式	「通行止め」	45	基
● 立て看板	1400×550	反射式	「立入禁止」	45	基
● 車輛取付用横幕				20	枚

非常災害時保安機材供出訓練報告

報告書作成者 地域担当幹事

非常災害時保安機材供出訓練報告



▲東三河・新城設楽事務所管内
訓練後、県防災主幹様より講評をいただきました

昨年に続き今年も「非常災害時 保安機材供出訓練」を県内を6箇所のブロックに分け、ブロックごとに行いました。

訓練は各ブロックとも、「東海地方を震源とする大型地震が発生したことにより土砂災害が発生、愛知県各建設事務所の維持課防災グループより要請を受け被災現場まで保安機材を搬送設置し、必要な対策を講じる。」というもので、「カラーコーン、コーンバーを使い土砂災害現場を囲い、二次災害防止のため通行止めの看板を設置し、必要に応じて被害の拡大を防ぐ目的で、ブルーシートと土嚢で現場を保守する」という内容で行われました。参加会員

は、猛暑の中、非常に真剣な態度でキビキビとした動作で訓練を行っていく姿を、防災グループの担当者の方々に視察していただきました。

阪神大震災をはじめ新潟中越地震、岩手・宮城内陸地震、等日本国内で起きた大型地震、海外ではスマトラ沖地震、中国四川大地震等の被害を目の当たりにし防災意識の高まる中、このような訓練の意義と必要性を再確認するとともに、当協会では何が出来るのか、どのように社会貢献していけるのか考えていく必要性を感じました。

訓練の流れ

担当	作業内容(各ブロック共通)
県防災グループ	地区担当幹事へ出動要請
地区担当幹事	連絡及び召集
緊急時出動班	備蓄基地出発
緊急時出動班	被災地到着
緊急時出動班	作業開始
緊急時出動班	作業完了
出動班班長	県防災担当へ完了報告

非常災害時 保安機材供出 訓練 報告書

実施年月日	7月16日(水)	7月23日(水)	8月4日(月)	8月5日(火)	8月5日(火)	8月6日(水)	計
実施地区	知多	豊田加茂	東三河・新城設楽	西三河・知立	海部・一宮	尾張	
報告書作成者	甲村一夫	野村義彦	前山達彦	本多徹	加藤淳一	成田聡	
実施場所	美松工業 資材置場	森工業(有) 事務所	柴田興業 資材置場	大伸建設(株) 資材置場	加藤建設 資材置場	(株)東亜製作所	
参加人数(人)	10	8	10	9	15	7	59
搬出機材	—	—	—	—	—	—	—
カラーコーン(本)	30	15	14	30	30	14	133
コーンバー(本)	30	16	13	30	30	13	132
ブルーシート(枚)	0	5	3	2	10	1	21
立入禁止看板(枚)	2	2	2	2	2	2	12
通行止看板(枚)	2	2	2	2	2	0	10
土嚢袋(枚)	4	50	10	10	100	10	184

「非常災害時 保安機材供出訓練」の様子



保安機材運搬車両



保安機材運搬車両



知多建設事務所管



豊田加茂建設事務所管内



東三河・新城建設事務所管内



知立・西三河建設事務所管内



海部・一宮建設事務所管内



尾張建設事務所管内

防護柵フェンス部会

防護柵フェンス部会 北 正博

フェンスについて シリーズ(3)

防犯機能の進化「センサー」

フェンス (Fence) 柵。防壁。両方の意味を持ちます。社会の情勢変化によりフェンス・門が領地、農地、住宅の周りの柵から個々のニーズの防壁の役割が要求されるようになりました。出入の門と柵が生活を守る性能で設置されるようになり、生活様式の多様化にともないマンション、集合住宅の建設の際、侵入者、防犯に対する機器の設置が強化され接近制限、監視機能を持つ高性能な住宅が作られました。個人住宅についても「安全・安心まちづくり条例」により愛知県を始め防犯対策を講じた新築住宅には200万円までの住宅金融公庫の割増融資が導入されました。ここ数年の間、新技術の導入が進み高性能の装置が技術の発展により、その後の「テロ対策」生活を脅かし生命を奪う。凶悪犯罪から国民を守るため、数々の法改定時に公共各施設に防護のための先端技術施設設置義務が課せられ設置されました。



港湾



空港



原子力発電所

法整備の例

2002年12月 「SOLAS条約」締結

2001年9月アメリカ同時多発テロ事件後、国際法SOLAS条約により、港と船舶の保安対策の強化で全国の主要港で強固なフェンスとセンサー監視施設、カメラが設置されました。

2003年 6月 「国民保護法」成立

重要施設、港、空港、原子力発電所、生活のためのライフライン、水道、ガス等の施設の警戒区域の制限。

2003年 8月 学校施設整備指針の改正

2005年 2月 ハイジャック・テロ対策等航空保安対策成立

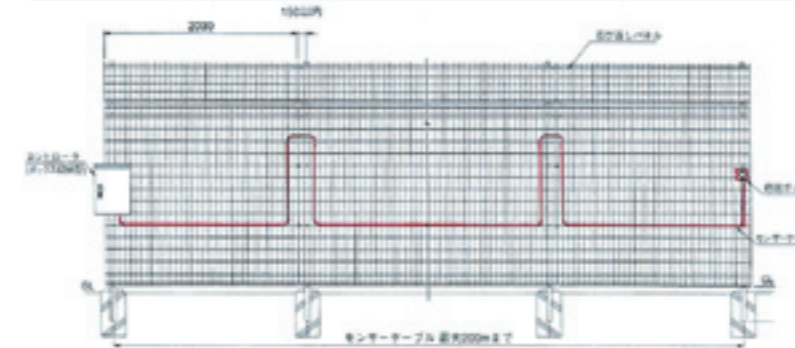
場周フェンスの強化、センサー及監視の強化が計られました。

ネットフェンスからメッシュフェンスに

2005年2月の航空保安対策は既設の金網フェンスはテロ犯罪者による破壊に強いメッシュフェンスに取替指導されました。製品の進化対応が必要です。

センサー仕様の例

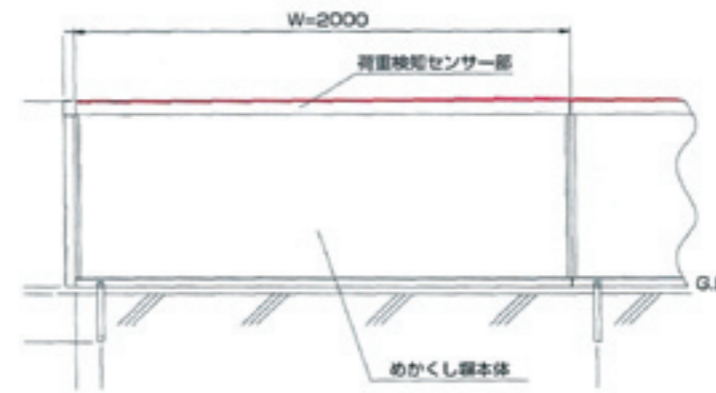
① フェンス面全体がセンサー化している方式



センサーケーブル

強誘電体プラスチックケーブル。電気分極によりケーブル内部に永久電荷が貯えられた状態でケーブル全長がコンデンサーマイクと同じ原理で振動を電気信号に変換して異常を知らせます。

② 見られたくない塀などの上に取り付けるセンサー方式

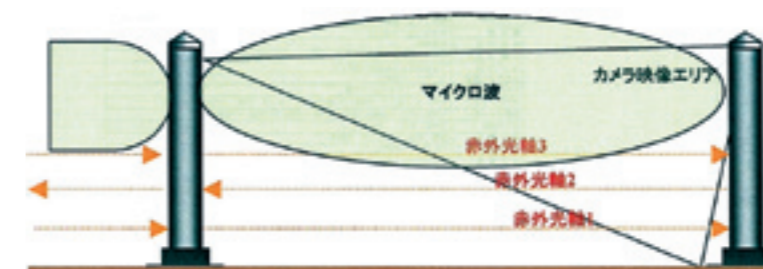


感圧コードセンサー

直径10mm。検知荷重32KG以上。乗り越えなどセンサーに荷重が載った時、異常を知らせます。

③ 赤外線センサー方式

フェンス上部のみならず、センサー光軸を遮断して電動装置等の可動、停止などのコントロールが可能です。又センサーが感応してカメラが記録を残す装置も各社から提案、販売されています。気象条件、動物の動き等、自然条件により誤報、失報に対応する機種製作が各社が製作されています。現在、ロボットの動き等もセンサーに反応した形で動きます。色、形だけでなしに五感も感知する様になりました。各自がセンサーに生かされる時代が来るでしょう。注目しましょう。



道路標識設置管理士研修レポート



7月21日～26日、道路標識設置管理士の研修を受けました。場所は富士山の麓、富士宮市です。目の前には道の駅「朝霧高原」があり、観光客が途切れることなく訪れてきます。ここは空気がきれいで、私の住んでいるところと比べかなり涼しく、このような研修をするにはとても環境のよい所です。



研修内容は、交通人間工学概論、交通生理学・心理学、景観工学、法規、道路標識概論、設計、施工計画概論、基礎工概論、建柱工・電工概論、メンテナンス方法及び処理そして施工実習でした。



施工実習では標識板の取替え作業を行いました。自分には慣れた作業ですが、移動式クレーンや高所作業車運転等の免許を取得していても実際の作業をする機会の少ない方が意外に多く、他社の方の話を聞きますと、同じ標識業界とはいえそれぞれのあり方があるのだと実感します。



研修所にはコンクリートや鋼材および土の強度試験をする試験機があり、実際に目の前でコンクリートの供試体や鉄筋を破壊して見せてくれました。これらの実験機材は私の出身校のものとほぼ同じで、少し懐かしさがありました。標識業務を主にこなしている私たちにとって今回の研修は、全体として再確認的な部分も多いとは思いますが、交通人間工学や生理学、心理学などの分野を学ぶと、標識を建てるということ

は非常に奥が深いものです。具体的な例では、加齢によって目のなかのレンズ(水晶体)に黄色が帯びて、緑・青・紫などの色が判別し難くなるという生理現象があって、このような生理的な視点からも標識をよりよいものに変えていくことが可能だと教えられました。

景観工学では、景観の阻害要素として、ガードレール、ガードフェンスとともに路面表示と標識も挙げられています。交通をスムーズにし、交通安全に寄与し、コミュニティをつなぐ役割の一部を担う道路標識が「景観を阻害」しているという表現は、標識業務に携わるものとして納得のいくものではありませんでしたが、少なくとも「景観を阻害している」と言われないような標識の設置ができるようになることが、私たち標識業者に求められている役目なのでしょう。(でも私としては、標識は美しい構造物だと個人的には思っていますが、皆さんはいかがでしょう?)

最初は初対面だった参加メンバーも日を追う毎に話す機会も増え、最後に研修センターを離れるのが名残惜しくなります。来年以降に研修を受けられる方々もどうか前向きに参加してみてください。きっといい経験、いい思い出になりますよ。

最後にこの研修に携わってくださった講師、及びスタッフの方そして、研修センターの方々、いろいろお世話になった参加メンバーの皆さん、どうもありがとうございました。



標識部会

標識部会 野村 義彦

平成20年8月 標識令の改正について

平成20年8月1日より、「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」の改正が施行されました。主な改正は以下の通りです。

改正内容(道路標識)

(1) 高速道路等の無料区間/有料区間の表示



(2) 交差点における案内標識の分かりやすさの向上

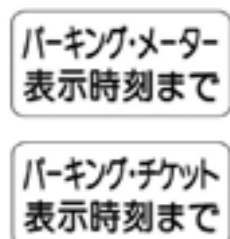
交差点における方面、方向等の予告を行う案内標識に標示する交差点までの距離について必要がある場合は、下図のような表示方法を可能とします。



(3) 規制標識の追加



(4) 補助標識の追加



504の2 駐車時間制限

(5) その他の改正

距離を標示する「Km」表記の「km」への変更

高速道路等以外の道路に設置する案内標識において、距離を標示する「Km」の表記を「km(小文字)」へ変更します。



改正内容(区画線及び道路標示)

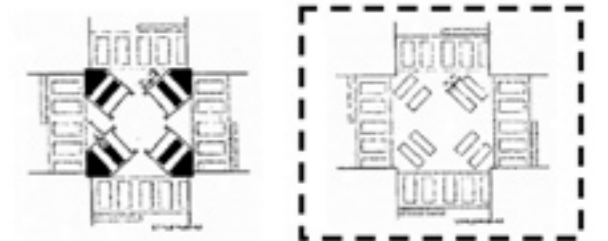
(1) 規制標示の追加



114の2 普通自転車 歩道通行可

(2-1) 指示標示の追加

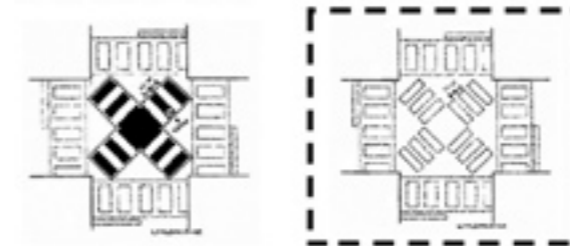
【時間を制限して行う場合】 ※追加 横断帯の帯を省略



201の2 斜め横断可

(2-2) 規制標示の追加

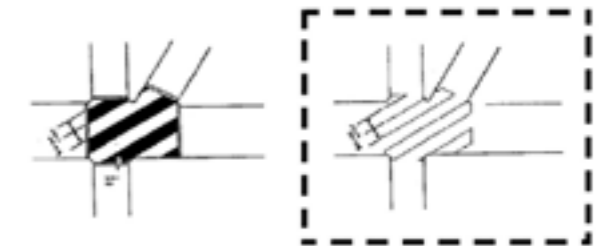
【終日行う場合】 ※追加 横断帯の帯を省略



201の2 斜め横断可

(2-3) 指示標示の追加

【終日行う場合】 ※追加 横断帯の帯を省略



201の2 斜め横断可

トピックス

平成20年4月29日付で発表された春の叙勲で、愛知県在住者では百四十六人の方が栄誉に輝かれました。受賞された方々は何れも国や公共への長年の功績を積み重ねられた方々です。この度、我愛知県協会員である東亜ライオン株式会社取締役会長 横江春太郎氏が瑞宝小綬章の栄誉に輝かれましたことをここに報告するとともに謹んでお慶びを申し上げます。



春の叙勲にて
横江春太郎氏
瑞宝小綬章受賞

標示部会「平成20年度 路面標示技能士検定実施報告」

標示部会 長坂 武久

技術と経験を現場に生かせ!!

平成20年7月30日(水)中京競馬場大駐車場にて平成20年度 路面標示技能士検定が行われました。この検定は(社)全標協中部支部愛知県協会が愛知県職業能力開発協会から全面的に委託を受け設営準備から実施、採点に至るすべての運営を行っています。今年は天候に恵まれ当初予定どおり検定を開催することができました。当日は30℃を越える猛暑になり受験者は暑さと緊張で多くの汗を流してがんばっていました。今回の受験者の中から交通安全施設業の将来を担う“エキスパート”が現れることを期待するところであります。



▲(社)全標協中部支部長挨拶

平成20年度路面標示実技試験受験者数

	ハンドマーカ-	マシンマーカ-
愛知県	12	3
静岡県	10	0
岐阜県	12	1
三重県	14	0
長野県	0	0
福井県	6	4
合計	54	8



▲ハンドマーカ-検定状況



▲マシンマーカ-検定状況

路面標示技能士とは・・・

1. 職業能力開発促進法に基づいた国家検定制度

職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)に基づいた国家検定制度であり、現在137職種が実施されています。路面標示技能士制度は、昭和61年から対象職種(単一等級)に加えられ、工事施工者の有する技能を一定の基準によって検定し、合格した者には「技能士」としての厚生労働大臣から認定された称号を付与された国家資格です。

2. 建設業法における国の認定

建設業法(昭和24年法律第100号)では、平成10年6月18日付建設省第1359号(現国土交通省)により、路面標示技能士は下記の資格を有することとなりました。いわば国土交通省が認定した国家資格といえます。

- ・専任技術者となりえる
- ・主任技術者となりえる
- ・技術者資格として評価対象となっている

標示部会 技術情報

標示部会 長坂 武久

カラー標示による「思いやりゾーン」の形成

全国での交通事故死者数は昭和45年の16,765人(過去最多の年)以降、年々減少しており平成20年は前年と同様に6,000人を下回るようになりました。しかし、それでも毎年5,000人以上の方の尊い命が交通事故により奪われているという現実を我々は直視しなくてはなりません。私たちが暮らすこの愛知県におきましては交通死亡事故件数全国ワースト1位(5月末現在)という不名誉な立場から未だ脱出出来ずにいます。

我々愛知県協会では平成17年度よりカラー標示による様々な事故防止対策をご提案してまいりました。その中で本年度はカラー標示による「思いやりゾーン」の形成をご提案いたします。「思いやりゾーン」とはその名の通り、運転者に思いやりをもって運転してもらう為の啓発を行うゾーンというものです。子どもやお年寄りなど交通弱者を事故から守るには車を運転する方の思いやりが必要不可欠であると考えます。

カラー標示で歩行帯を明示することにより運転手に少しの減速を促したり、子どもの飛び出し等に対する注意喚起が出来れば道路の環境は少しずつ安心、安全な方向に変わってゆくとおもいます。本年度、我々は「思いやり」をキーワードにカラー標示の普及活動を推進し、事故のない安心安全な社会づくりに貢献したいと考えています。



通学路をカラーで表示



歩道の無い通学路での歩行者保護対策の例



交差点をカラーで明示して注意を喚起



平成20年度通常総会開催

研修委員会委員長 舟橋 浩司

平成20年度通常総会開催



▲前山会長

平成20年5月9日(社)全標協愛知県協会の通常総会がサイプレスガーデンホテルにて開催されました。前山会長から、公益活動を通じて社会貢献をおこなった結果、必要不可欠な協会と変革することができた。子どもを守ろうプロジェクト・災害対策PJを通じて、引続き公益活動に力を注ぐ話がされ、総会では、各議案について慎重審議され、満場一致で承認可決されました。

出席 41社(委任 11社 / 計52社)

平成20年度、愛知県協会の総会におきましては、総会議案に先立ちまして来賓の方々より、ご挨拶を頂きました。

愛知県警本部交通部交通規制課 課長
遠藤 健二 様



▲県警本部 課長 遠藤 様

愛知県建設部道路維持課 主幹
長谷川 勇 様



▲県建設部 主幹 長谷川 様

<議事内容>

- ・第1号議案 平成19年度事業報告の承認を求める件
 - ・第2号議案 平成19年度収支決算報告の承認を求める件
 - ・第3号議案 平成20年度事業計画案の承認を求める件
 - ・第4号議案 平成20年度予算案の承認を求める件
- その他 新入会委員の紹介

※平成20年度事業計画は、
トップページから詳細を
ご覧頂けます。

新規会員 (賛助会員) 日鐵住金建材株式会社 名古屋支店 様

<懇親会>



▲愛知県議会議員 寺西 学 顧問



▲(社)全標協・中部支部 針山 支部長

総会終了後、懇親会が同ホテルにおいて前山会長の挨拶をはじめとし開催されました。寺西顧問から、協会委員、賛助会員の全社に向けて、叱咤激励のご挨拶と針山支部長に乾杯のご発声をいただき、有意義な懇親会となりました。

安全大会事業報告

研修委員会委員長 舟橋 浩司

安全大会事業報告

平成20年7月9日(水) サイプレスガーデンホテルに於いて建設災害防止安全が正会員58名、賛助会員が参加により開催されました。

講師には、愛知県警察本部 交通規制課 課長補佐 沢田様のご臨席を賜り、交通事故の現状や改正道路交通法の説明をしていただき、交通安全の大切さ、重要性を改めて感じました。

引き続き講師に東邦ガス(株)他工事センター他工事課 照会チームチーフ 国島様よりガス指導尊称事故防止について事故事例の紹介、事故発生時の応急処置、工事に際しこの注意事項など映像を交えてご講話いただきました。

最後に今年のスローガン「**トップが率先 みんなが実行 つみ取ろう職場の危険**」をみんなで唱和し、閉会しました。



■写真説明

(上左) 前山会長の挨拶 / (上中) 愛知県警察本部 交通規制課 沢田様 / (上右) 東邦ガス(株) 他工事センター 国島様
(下) 受講の様子

社団法人 全国道路標識・標示業協会 中部支部 愛知県協会 会員名簿

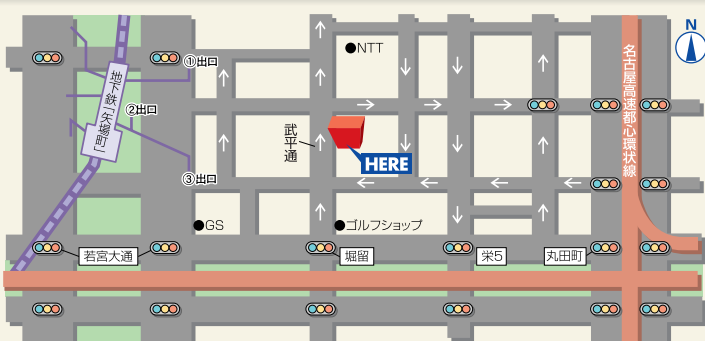
正 会 員	電 話 番 号
(株) アサヒカッター	(052)793-2043
アトムテクノス(株)名古屋営業所	(0586)24-5706
(株) イセヤス 建材	(0532)33-3303
(株) イワフジ	(0565)43-3555
(株) オカムラ	(0567)65-6050
小田鉄網(株)	(052)351-5181
(株) 京伸	(0565)33-2141
(株) 金原	(0532)31-4969
交通企画(株)名古屋営業所	(052)232-5830
サンダイ技建(株)	(0568)43-3221
山和フエンス(株)	(052)832-5411
順天工業(株)	(0565)48-4851
信号器材(株)名古屋営業所	(052)832-2571
スロープガード(株)	(0564)28-0661
セフテック(株)名古屋支店	(052)902-2711
(株)ダイエーディスプレイ	(052)411-3811
(株) 大恵	(0567)65-3555
大電土木(株)	(0565)53-3883
中央塗料工業(株)名古屋営業所	(052)822-3916
中日保安設備(株)	(0587)95-1284
中部道路(株)	(052)772-6131
中部レーン工業(株)	(052)461-3464
寺部安全施設(株)	(0563)57-1800
東愛工業(株)	(0565)53-2072
(株) 東亜製作所	(052)891-1711
東亜ライン(株)	(052)624-5071
東京戸張(株)	(0533)68-7151
東邦ステンレス工業(株)	(0562)33-1676
東祐工業(株)	(0565)27-6885
東陽工業(有)	(0565)26-9111
東和工業(株)	(052)679-5311
豊田(株)	(052)935-5561
西尾ライン(株)	(0563)54-3481

正 会 員	電 話 番 号
日道工業(株)	(0569)48-1456
(株) 日本道路システム	(0536)23-6120
日本ハイウェイ・サービス(株)名古屋支店	(052)733-1575
日本ライナー(株)中部支店	(0586)71-4155
阪神装路(株)名古屋支店	(0586)77-1084
富国合成塗料(株)名古屋営業所	(052)353-1859
藤安全施設(株)	(0567)95-8038
不動フエンス工業(株)	(052)852-9970
保安工業(株)中部支店	(052)588-0052
(株) 前山	(052)841-9250
(株) みどり安全社	(0564)48-2888
美松工業(株)	(0569)29-2751
名東電気工事(株)	(052)763-2141
名阪興業(株)	(0566)82-8818
(株)メタルテクノ神戸	(0532)31-6700
森工業(有)	(0565)44-0255
ラインファルト工業(株)中部営業所	(0586)51-6272

賛助会員	電 話 番 号
(株) 吾妻商会名古屋支店	(052)745-7407
(株) 興和工業所	(0569)29-3041
三永商事(株)	(052)232-5800
(株) 三陽商会中部支店	(0567)57-0160
篠田(株)	(058)245-5181
(株) 篠田商会名古屋支店	(0568)34-0215
神鋼建材工業(株)名古屋支店	(052)205-9600
住友スリーエム(株)名古屋支店	(052)220-7258
積水樹脂(株)中部支店	(052)961-1571
東洋樹脂(株)	(0568)79-6123
ポッターズ・パロティーニ(株)	(03)5298-2541
JFE建材(株)名古屋支店	(052)204-5707
JFE建材フェンス(株)名古屋支店	(052)201-3400
日鐵住金建材(株)名古屋支店	(052)564-7228

周辺地図

地下鉄矢場町③番出口が便利です。



社団法人 全国道路標識・標示業協会
中部支部 愛知県協会

■お問合せ先

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目19番31号
T&Mビル2階

TEL (052)241-4515

FAX (052)252-8156

E-mail zen-ai@syd.odn.ne.jp

<http://www.ansinmichiaichi.jp>